心能春雨嘶

全

207
28

国立国会図書館　心能春雨嘶 : 2巻 207-28

ガラス使用

心能春雨嘶

207
28

国立国会図書館　心能春雨嘶：2巻 207-28

ガラス使用

207
28

心能春雨嘶

二

国立国会図書館　心能春雨嘶：2巻 207-28

ガラス使用

国立国会図書館　心能春雨噺：2巻 207-28

ガラス使用

国立国会図書館　心能春雨噺：2巻 207-28

ガラス使用

▲らうばき

国立国会図書館　心能春雨噺：2巻 207-28

ガラス使用

国立国会図書館　心能春雨噺：2巻 207-28

ガラス使用

▲かみなりうへ
かみなりうへこそ
きちらふやうんとろ
てることぐもが大
ぜいついてやア
あつこそうり
いるうそよ
ありのざ
ア
ありぬと
そゝ
うこそのうふり
いうのうぬう
きちとおくいさ

▲大屋
かーたるのふざと
そゝぐもがいかうよ
なぐでうびく
おうべい大屋どの
おんじを
つみてあ
いさか
かだなと
うきうのみ
てよすぐ
おそぎやがみうち
つみこんでハ
ばゝ殺もうる

かーたる店

国立国会図書館　心能春雨噺：2巻 207-28

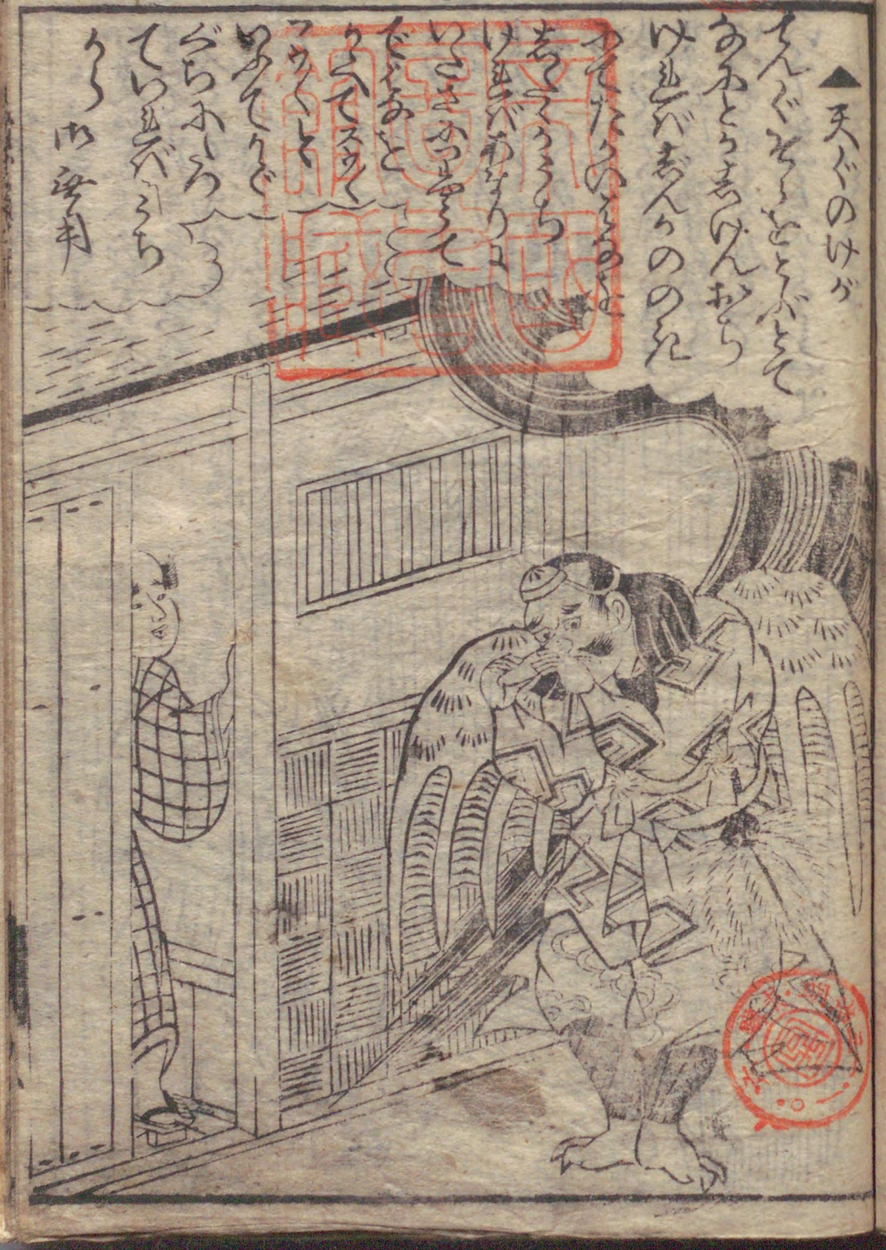
ガラス使用

国立国会図書館　心能春雨噺：2巻 207-28

ガラス使用

国立国会図書館　心能春雨噺 : 2巻 207-28

ガラス使用

▲天ぐのけが
てんぐそこをとぶとて
あふとらもげんおう
ゆみやおんらのの

国立国会図書館　心能春雨噺：2巻 207-28

ガラス使用

▲さてもそのこうくつへむじんやなへ人のやうぐのようすをみれてゐたこそそうろふ

▲御座敷

▲さてもそうこそやぢくさがさもうこえとそろてゐるところへかしらのうゑをがきさんをまきつけてゐるとこへおもてのこそうこえをたゝくやつさ祖へかしらのうゑをがきさんがもうのさるよかしらがちろとみるよ祖へよこつらの祖へかしらのうゑをがきさんがもうのさるよ祖へよこつらの祖へといふよみさの人れこそんなうのてをねだろてそろ

国立国会図書館　心能春雨噺：2巻 207-28

ガラス使用

国立国会図書館　心能春雨噺：2巻 207-28

ガラス使用

▲あぐれせんさく

イヤりやうぐわつどうぢやのものいひやうがきたないもちやとこいつがくちをきくもやぢ大じとこいつがくちをきくもやぢ大じとこいつがくちをきくもやぢ大じ

▲きんさつのこそ
ふくらをあて
うらをしてし
ぜんかひぎり
づき十二月の
おひ移りと申
あのだとひき
おひ移りとの
丁んかきやい
ちろりのそ
くきそく
ろりはと
うらうらと
くそんもろ

▲七ふく人
こそひのさそうの
いざ七人よう合て
めくりとろびやけ
ひいかりのうちう
きおりんやそのとと
きそうのくいかいかい
おやおうまやおくと
うらろろのでやと
子そのそうのいい
くそうのいい
ヨヤサおかげさく
こうのおやさじ
まんのひびとうのへ
おおへこおおへ
ものの

国立国会図書館　心能春雨噺：2巻 207-28

ガラス使用

207
28

国立国会図書館　心能春雨噺：2巻 207-28

ガラス使用

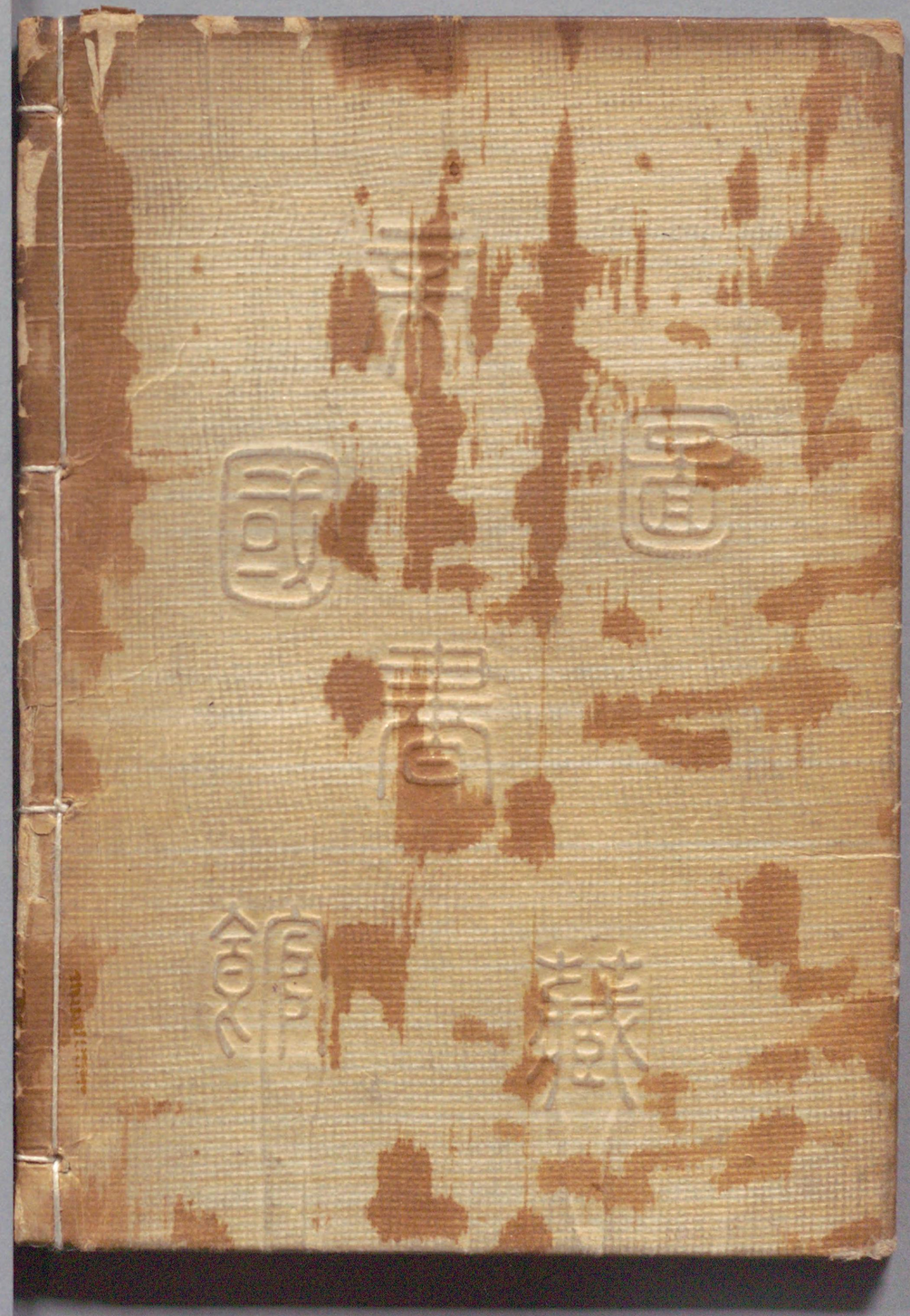
国立国会図書館　心能春雨噺 : 2巻 207-28

ガラス使用

207
28

国立国会図書館　心能春雨噺 : 2巻 207-28

ガラス使用



国立国会図書館　心能春雨噺：2巻 207-28

ガラス使用